

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月5日(木) 15:30~16:40
- 3 開催場所 多治見高等学校 大会議室
開催にあたり、委員による「総合的な探究の時間」学年発表会の参観を実施した
- 4 参加者
向井 貴彦 岐阜大学地域科学部教授
小口 英二 一般社団法人多治見市観光協会
COO (最高執行責任者)
小西 直哉 JR 東海多治見駅首席助役
坂崎 雄介 多治見青年会議所理事長
田口 直佳 「やくならマグカップも」原作ディレクター
中嶋 麻子 育友会副会長
村松 敦子 多治見市養正交流センター長
山内 英之亮 多治見市役所企画部企画政策課課長代理

学校側 増田 智至 校長
川原 正史 教頭
大野 和司 事務長
桑原 華栄 教務主任
谷口 朋子 進路指導部
八橋 想 生徒指導部長
鈴木 貴博 特別活動部長
丸山 真 保健厚生・渉外部長
高木 佑菜 記録

5 会議の概要(協議事項)

(1) 校長挨拶

(2) 「令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書」について学校からの説明

(3) 学校運営協議会委員からのご意見・ご感想等

① 1・2年「『総合的な探究の時間』学年発表会」の感想

② 生徒の実態について

③ 「令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書」について 等

(4) 諸連絡

① 令和7年度「『総合的な探究の時間』全校発表会」について

② 令和8年度 学校運営協議会について

授業参観、学校からの説明を踏まえ、委員から意見を得た。

- 意見1： スマートフォン等の使用のあり方については家庭でも苦慮している。スマートフォン等の使用にあたって生じたトラブルを学びの機会として次に活かせるとよい。
- 意見2： 部活動が縮小傾向にあり、取り巻く環境も変化してきているが、生徒にとっては学校生活を送る上でのモチベーションの一つでもある。持続可能な環境整備や進路に結びつくような工夫があると良い。
- 意見3： 教職員の方々は大変多忙で、研修の機会を別途持つことも難しい。外部人材を積極的に活用し、生徒の学びになるとともに、教職員の研修にもなるような機会があるとよい。
- 意見4： 社会通念から逸脱していない限りにおいては、多様性を認めていくというのが今日的な考え方である。その点において、探究活動では生徒の多様性が存分に発揮されており、かつ、自由な表現が認められていて好感をもった。
- 意見5： 図書館はよく整備されており、大変充実している。蔵書の多さを活かした取り組みを工夫したい。
- 意見6： 青年会議所では、中高生がより地域に関わっていけるような取り組みを推進していこうと考えている。連携の在り方を模索していきたい。
- 意見7： 離職、転職の増加が問題となっている。進路指導をする上で、どのような点に留意しているか。
⇒進路希望先とのミスマッチが生じないように、相手のことを知るとともに、自分の興味・関心・適性の理解に努めるよう指導している。
- 意見8： ミスマッチは当然生じるものである。そのときに、心屈して諦めることなく、現実と向き合いつつ自己形成を図ることができるよう指導をしていくことも大切である。
- 意見9： ある探究ゼミの顧問としても関わったが、生徒の様々な個性や潜在的な可能性を実感する機会となった。一人一人に向き合い、生徒の個性を活かしていけるように指導している教職員の方々に感謝したい。
- 意見10： 例年にも増して聞きやすい発表が多かった。昨年度から継続しているゼミにおいても、実態に応じた工夫・改善がされている。質疑応答もしっかりしており、コミュニケーション能力の育成にも繋がっている。
- 意見11： 進路情報については、与えるだけではなく、生徒自身が主体的に調査し、クラスなどで発表する機会を設けたりすることで、自他にとっての学びの機会となる。
- 意見12： 交通マナーやいじめなどは昔からの教育現場での課題であり、一朝一夕にどうにかなるものではないが、少しずつであっても啓発を続けてもらいたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、委員より学校運営に関する貴重な御意見を伺った。これらを今後の学校運営に活かしていきたい。